

「安心・活力・発展プラン2005」中間見直し策定委員会発言要旨  
－安心部会－

開催日：平成23年6月20日（月）13：00～15：00

場 所：トキハ会館6F さくら

出席委員： 由佐委員 安東委員 内田委員 金井委員  
川中委員 河村委員 坂本委員 佐藤委員  
善 委員 高橋委員 辻野委員 松田委員  
村上委員 渡邊委員

- 子育ての指標として、病後児保育、休日保育、保育ママ等の状況が分かる指標を追加したらどうか
- 教育と子育て支援がひとつになったような、就学前教育を一手に引き受けられる組織があったほうがよい
- 公営住宅を高齢者や障がい者のグループホーム等に活用するなど、住宅施策と福祉施策の連携が考えられないか
- 文化や伝統を継承していくためには、高齢者と若者が出会う場所が必要ではないか
- 警察官が赴任した土地の歴史や文化を学ぶことや障がい者に対する正確な知識が必要ではないか
- ヘルスアップサポーターなど、行政が認定をし育成した人達を活用する場所づくりが必要ではないか
- 医師不足だけでなく看護師不足も大きな課題であることを追加したらどうか
- ジオパークは観光の起爆剤になる可能性があるので、複数の観光プランの作成や県民運動を更に進めたらどうか
- 防災のキーワードとして「日常防災」という考え方を入れ、継続的な広報をすることが必要ではないか
- 自分が住んでいる場所が、どのくらいの高さなのかが分かるように、電信柱などの見やすいところに海拔表示をしたらどうか
- マイバッグ運動の指標として、レジ袋削減枚数を入れるなど県民にわかりやすい指標を入れたらどうか